

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第1区分

【発行日】平成28年12月15日(2016.12.15)

【公開番号】特開2016-184592(P2016-184592A)

【公開日】平成28年10月20日(2016.10.20)

【年通号数】公開・登録公報2016-060

【出願番号】特願2016-132568(P2016-132568)

【国際特許分類】

H 05 B 3/48 (2006.01)

F 23 Q 7/00 (2006.01)

【F I】

H 05 B 3/48

F 23 Q 7/00 V

F 23 Q 7/00 605M

【手続補正書】

【提出日】平成28年10月26日(2016.10.26)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

絶縁基体と、該絶縁基体に埋設された、第1直線部、該第1直線部と並行に設けられた第2直線部および前記第1直線部と前記第2直線部とを繋ぐ折返し部から成る発熱体と、前記絶縁基体に埋設されるとともに前記第1直線部に接続された第1リードと、前記絶縁基体に埋設されるとともに前記第2直線部に接続された第2リードとを備え、前記第1リードおよび前記第2リードの両方の軸を含む平面において、前記第1直線部の軸線が、前記第1直線部と前記第2直線部との間隔を維持したまま、前記第1リードの軸線に対して傾斜しているヒータ。

【請求項2】

前記第1直線部および前記第2直線部が、前記第1リードおよび前記第2リードの両方の軸を含む平面に対して傾斜している請求項1に記載のヒータ。

【請求項3】

前記第1直線部および前記第2直線部が、前記第1リードおよび前記第2リードの両方の軸を含む平面に対して5~20°度傾斜している請求項2に記載のヒータ。

【請求項4】

前記第1直線部および前記第2直線部が、前記第1リードおよび前記第2リードの両方の軸を含む平面に対して11~16°度傾斜している請求項2に記載のヒータ。

【請求項5】

請求項1乃至請求項4のうちのいずれかに記載のヒータと、前記ヒータを保持する金属製保持部材とを備えたグローブラグ。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本発明のヒータは、絶縁基体と、該絶縁基体に埋設された第1直線部、該第1直線部と並行に設けられた第2直線部および前記第1直線部と前記第2直線部とを繋ぐ折返し部から成る発熱体と、前記絶縁基体に埋設されるとともに前記第1直線部に接続された第1リードと、前記絶縁基体に埋設されるとともに前記第2直線部に接続された第2リードとを備え、前記第1リードおよび前記第2リードの両方の軸を含む平面において、前記第1直線部の軸線が、前記第1直線部と前記第2直線部との間隔を維持したまま、前記第1リードの軸線に対して傾斜している。